

# はなみずき



## 市民との意見交換会



臨時号では各地域のテーマを中心に掲載しています。詳細については小林市ホームページをご覧ください。

## 「開かれた議会・信頼される議会」をめざして

広報広聴委員会 委員長 蔵本 茂弘

小林市議会では、昨年3月に「小林市議会基本条例」を制定しました。その中で、市民の皆さんの市政や議会に対するさまざまな意見要望・批判を聞くことにより、課題や問題点を整理して市政や議会活動に反映させることが必要だという考えから「市民との意見交換会」を実施することを決めました。

広報広聴委員会では、意見交換会の実施方法を1年かけて協議しました。先進地を視察し勉強したり、区長会への説明や協力依頼などを行いました。

主な実施方法と具体的な目的は  
■市内14ヶ所（小学校区単位）を議員が4班に分かれて担当する。  
■毎年実施する。各校区から地域の課題をテーマとして出してもらい話し合いをする。また、自由意見や議会からの報告も入れる。

■出された意見は、議会の一般質問で取り上げたり、所管の委員会の議論や審査に活かしたり、議会でも政策討論会を持ち、政策提言を積極的に進める。  
今年5月19日から23日まで第1回目の意見交換会を開きました。何しろ初めての取り組みでしたので不

安も大きく、行き届かない事なども数多くありました。しかし、300人を超える市民の方々の参加とたくさん意見が出され、有意義な会になったと思っています。市民の方々の交換会に対する主な感想は、

■ 議会が市民の中に入って積極的に意見を聞くことは良い取組だ。  
■ 地域の方々のいろいろな思いを聞けたり、議会の考えがわかり有意義だった。  
■ 市民目線で物事を考えたり、自分を見直すきっかけになり、とても勉強になった。

■ 回答が「委員会で検討する」だけで、その結果はいつ・どこで示されるのか。  
■ 偏った人の意見、長い発言などがあり、ルールづくりが必要だ。  
■ 議員の勉強不足が目立った。質問の内容を理解せずに答えていた。

今回の「はなみずき」臨時号は各校区で出された意見や内容をお知らせする目的で発行しました。また、後日回答すると約束したのも掲載しています。なお、詳しい内容は小林市ホームページに掲載しています。意見交換会への参加・協力ありがとうございました。

## 幸ヶ丘小校区

参加者 5人

### テーマ① 若者・子どもが暮らしやすい地域づくり

【意見の概要】

■ 小林には若者の働く場所が少ない。若い人達が働きやすいネットワークをつくる必要があるのでは。

■ 幸ヶ丘に住みたいという要望は多い。市営住宅を増やしてほしい。空き家等の活用も工夫すべき。  
■ 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。



### テーマ② 小林ブランドのPR

【意見の概要】

■ 生駒地域の発展のためには、農家の収入が上がること。給食センターで活用するなど地産・地消で地元の野菜を活用してほしい。  
■ 健康産業時代である。「食べ物で健康づくりを」というようにPRの仕方を工夫したらどうか。また、健康食材として産業活性化に結びつけたらどうか。

■ 小林の名産をつくるため、ネットを活用した販売流通を促進したらどうか。  
■ 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。



## 細野小校区

参加者 30人

### テーマ① 子どもの安全登校

【意見の概要】

■ 歩道が途切れている所（35m×40m）がある。また、サングリーンやまぐちから神の郷温泉までの間は、安全灯が不足して暗いので整備できないか。

■ 通学路の安全灯整備については、学校を通じて申請することができます。歩道については一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。



### テーマ② コスモス牧場の現状と今後

【意見の概要】

■ ひなもりオートキャンプ場は、5月は1日平均500人もの来客があり盛況であった。コスモス牧場で食材販売をするならば、食料の調達が助かるのでは。コスモス牧場とひなもりオートキャンプ場との連携を考えたかどうか。

■ 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

【行政の主な取組】

コスモス牧場運営事業費  
当初予算：約497万円



## 三松小校区

参加者 21人

### テーマ① ごみ収集業務の取り組み

【意見の概要】

■ ふれあい収集の基準、見直しはできないか。  
■ 不法投棄が多い。分別の緩和によって減少するのでは。

■ ごみ収集については、いろいろな意見が出されています。今後、議会でも議論を深めていきます。

【行政の主な取組】

ごみ収集運搬事業費  
当初予算 約1億7,375万円  
【ふれあい収集の概要】

高齢者や障がい者の方で集積場に「ごみを出せない場合」について「ふれあい収集」を行っている。ただし、原則として次の条件を満たしている方が対象となります。

65歳以上かつ要介護2以上の方だけで構成されている世帯、または、身体障害者手帳の障害程度が1級または2級の方だけで構成されている世帯で、市内（近く）に身寄りのいない世帯。

### テーマ② 区・組への加入促進

【意見の概要】

■ 未加入者から徴収する金額が区・組で違う。対応が必要なのは。

■ 新しい人への受け皿ができないか対応が必要である。

■ 一般質問等で行っているが、ごみ問題やきずな協働体の取り組みとも関連するため政策討論会等を含め議会としての意見を提案していきます。

【行政の主な取組】

予算：約6,203万円  
行政推進費



## 栗須小校区

参加者  
40人

### テーマ① 将来の地域コミュニティの姿・形

【意見の概要】

■ 30年間続いている公民館活動を充実すべきだ。そのためにはリーダーの資質向上や若きリーダー育成が必要では。

■ 合併と同時にスポーツ大会や校区ごとの運動会がなくなった。スポーツ振興も大事だ。イベントなど充実（復活）してほしい。

■ 地域の宝がなくなりつつある。地域の宝発見がコミュニティづくりでも大事ではないか。

■ 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。また、必要に応じて委員会で調査対応します。

【行政の主な取組】

校区協議会設立モデル事業費  
当初予算：約1,192万円

### テーマ② 農業の振興

【意見の概要】

■ 加工センター建設の構想はないか。1次産業と2次産業を融合し、地域一体となって農家を盛り上げてほしい。また、特徴のある農業を先駆けてやれないか。

■ 農業所得向上のため、季節の産品を活かした新しいブランドや新商品の研究・開発を充実させてほしい。

■ 大変重要なテーマです。議会でもさらに一般質問や委員会審査の中で強く訴えていきます。

【行政の主な取組】

地域経済循環創造事業費  
6月補正予算：4,190万円



## 鳥田町地区

参加者  
20人

### テーマ① 橋満林道拡幅工事、河川整備、水害対策への取り組み

【意見の概要】

■ 橋満林道の拡幅工事について、早く完了できるように進めてほしい。

■ 川幅が狭くなっているところもある。護岸の川床調査等を行っているのか。

■ 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

【行政の主な取組】

市単独整備事業費  
当初予算：2億6,604万円

河川等整備事業費  
当初予算：1,000万円

【意見の概要】

■ ダム整備に伴う道路補修はどくなっているのか。夏木・九々瀬線のセンターラインはない。痛んだ道路は直すという約束（元の状態に戻す）だったが、また、土捨て場（広場）の利活用は。

■ 浜ノ瀬ダム関連工事の残土捨て場の有効活用を図る予定です。

■ 道路については、市としては県土木事務所に強く要請していただきます。

【行政の主な取組】

太陽光発電施設建設事業費  
予算 約2億4,914万円

### テーマ③ 旧鳥田町小学校・旧鳥田町保育所の施設の利活用

【意見の概要】

■ 鳥田町地域だけで何かをするのは難しい。須木全体で取り組んでいくべきだと思うが。

■ 地域協議会を中心に、須木全体で解決していくべきではないか。一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

## 東方小校区

参加者  
17人

### テーマ① 陰陽石・三之宮峡周辺の観光地としての再開発

【意見の概要】

■ 陰陽石内の親水公園から三之宮峡入口まで橋をかけ、遊歩道をつくってはどうか。また、三之宮峡入口の道路拡幅や看板設置など環境を整備すべきでは。

■ 川に魚を放流し、釣り大会等のイベントはできないか。

■ 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

【行政の主な取組】

陰陽石まつりへの補助や人的支援、観光施設維持管理を行っています。

### テーマ② 東方輪太鼓踊りの保存・継承への取り組み

【意見の概要】

■ 現在、小・中学生が継承しているが、指導者など後継者育成を

## 永久津小校区

参加者  
5人

### テーマ① 年2回、道路愛護デーを設定して、年中きれいなまち、安心安全なまちを

【意見の概要】

■ 今はお盆前に実施されているが、正月前には農村部は道路脇の雑草が伸びてしまう。12月にもう1回行えば、気持ちよく正月を迎えることができ、3月末まで保たれるのでは。

■ 年末は、時節柄、全体的にごみの排出量も増え、年末まで通常のごみ回収作業を行っている現状があります。2回に増やす対応ができるかなど、協議に一定の期間を要することになるのではないかと考えます。

### テーマ② 自治公民館に世代ごとの組織をつくり、協働のまちづくりを努める

【意見の概要】

■ 協働のまちづくりは、地域から立ち上がったものでないと活気がでない。地元の各世代で組織をつくり、自治公民館活動を活気づけていけば盛り上がっていくと思うが。

■ 世代間交流を考慮し、共助体制を図る意味からも、各地域ごとの組織体制を充実していくことが必要であると考えます。

【行政の主な取組】

校区協議会設立モデル事業費  
当初予算：約1,192万円



## 小林小校区

参加者  
39人

### テーマ① ごみ収集業務の取り組み

#### 【意見の概要】

■ ごみの分別作業に苦勞しているのが簡素化できないのか。特に、高齢者等にとっては大変な作業である。

■ ごみ収集業務をNPO法人赤とんぼに委託した理由は。また、議決までの経緯はどうだったのか。

■ ごみ収集運搬等業務は平成25年度から委託しています。9月定例会で平成25年度決算について審査いたします。ごみ収集については、市民からいろいろな意見が出されていますので、今後、委員会等を通して慎重に審査し、議会としても議論を深めていきます。

#### 【行政の主な取組】

■ ごみ収集運搬事業費  
当初予算 約1億7,375万円

### テーマ②

#### にぎわいのある中心市街地の取り組み (中心市街地活性化基本計画の策定)

#### 【意見の概要】

■ 「駅伝のまち小林」にちなんだイベントを開催したらどうか。

■ 若者を引きつける魅力ある施設や集客力のある施設を整備しては。

■ 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

#### 【行政の主な取組】

■ 小林駅周辺整備事業費  
当初予算：2億8,411万円  
中心市街地活性化推進事業費  
当初予算：約1,434万円

### テーマ③

#### 協働によるまちづくりの取り組み(きずな協働体)

#### 【意見の概要】

■ 市が進めている「きずな協働体」について、市民への周知や理解が進んでいない。具体的に説明

## 野尻小校区

参加者  
26人

### テーマ① 野尻庁舎の利活用

#### 【意見の概要】

■ 合併後、使用率が低い会議室等があると思うが、地域住民に開放するなどの対策は。

■ 会議室等の利用については、地域協議会等で検討する必要があると思われる。また、利用の方法についても周知が必要と思われる。



### テーマ② 福祉バスの運用

#### 【意見の概要】

■ 利用者の声は十分に取り入れ

してほしい。

■ 市民が行政を動かすようになれば良いと思う。また、議員がまちづくりを進めるために旗振り役を努めるべきではないか。

■ 「こまばまちづくり協議会」の設立や活動内容を報告し、今年度の「きずな協働体」の取り組みとして須木地区、野尻地区、細野校区の進捗状況を説明しました。

【行政の主な取組】  
校区協議会設立モデル事業費  
当初予算：約1,192万円

## 西小林小校区

参加者  
17人

### テーマ① 西小林小・中学校の改築

#### 【意見の概要】

■ 西小林小学校・中学校の校舎はかなり古くなってきた。改築計画はどうなっているのか。

■ 全体的に建築年次や老朽化の度合い、体育館やプールなどの付帯施設も含めて、年次的な改築計画を検討しているとのこと。

## 須木小校区

参加者  
22人

### テーマ① 国道265号線「新軍谷トンネル」の補修

#### 【意見の概要】

■ トンネル内の水漏れが止まらない。大きな地震が発生すると崩壊するのではないかと心配だ。

■ 県の回答によると、昨年度までに漏水工事も行っているとのこと。トンネルの初回点検業務が完了しており、今後は詳細調査・大雨時の調査を行っていく予定です。

### テーマ②

#### 観光客誘致

#### 【意見の概要】

■ JR吉都線にSL列車を走らせてほしい。

■ 吉都線100周年実行委員会には解散したが、今後は「JR吉都線利用促進協議会」が引き続き誘致活動を引き継ぐことになると思われ。SLを走らせることを打診しましたが難しいとの回答で、具体的にはSLの回転場がないことがネックとなっているようです。



### テーマ②

#### 自治区運営(高齢化や後継者不足により不安)

#### 【意見の概要】

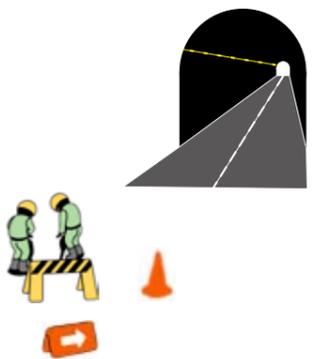
■ 高齢者も多く世帯数も少なくなり、今後の常会の運営等いろいろな面で心配事が多い。

■ 区の運営については、区の自主性を尊重していますが、区からの要望があれば、区の統廃合等を検討することはあります。協働のまちづくりモデル地区においては、地域支援員・担当職員を配置し、地域の課題解決等について協議を進めています。

#### 【行政の主な取組】

■ 校区協議会設立モデル事業費  
当初予算：約1,192万円

※自由意見の中で、シロチョウザメの雌雄判別は6、7年たつてからと回答しましたが、実際は3年たつてから確認できるようです。お詫びして訂正いたします。



# 紙屋小校区

参加者 13人

## テーマ① 少子化対策

【意見の概要】

- 若者が入れる住宅建設や医療費助成を充実させてほしい。
- 医療費助成は、未就学児については月350円の自己負担、入院については小学生を対象に月1,000円の自己負担で残りを助成する取り組みを実施していることを報告しました。これまでに一般質問でも行っており、今後も一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

【行政の主な取組】

乳幼児医療費助成や子ども医療費助成など実施しています。  
また、ファミリーサポートセンターの運営や、放課後児童クラブ・放課後子ども教室などを通して子育て世代を応援しています。

## テーマ② 定住促進

【意見の概要】

- 婚活事業や空き家対策の充実を図ってほしい。また、宅地分譲事業も進めてほしい。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。また、少子化対策にも関連しており、議会として政策討論会などで議会の意見をまとめ、提言につなげたいと考えています。

【行政の主な取組】

未来を拓く定住戦略プロジェクト  
定住促進企画事業費  
移住等促進支援事業費など

## テーマ③ 高齢者向け直売所の建設

【意見の概要】

- 農産物を集めて、直売所やスーパーへ持っていく仕組みづくりをしてほしい。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

# 内山地区

参加者 25人

## テーマ① 小・中学校スクールバス の対応

【意見の概要】

- スクールバスが廃止されることを関係者だけが知っていて、一般の人は知らなかった。
- 関係者については説明を行ったとのことですが、国の補助金はなくなりませんが市単独で補助を継続していく予定です。

【行政の主な取組】

福祉バスを活用して内山地区と野尻町区を結ぶ路線を試行運行し、スクールバスと福祉バスとの連携ができないか検討します。

## テーマ② 保育所、小・中学校施設 の活用

【意見の概要】

- 保育園（休園中）は10人以上でないと開園できないのか。保育園に入りたいが、通園手段がなく自宅のみでいる。

- 学校を利用しての農家民泊等の活性化につなげたい。地元としては、利用したい。
- 委員会活動を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

## テーマ③

### 水道の消火栓の案内板設置、その他公共施設案内 表示板設置

【意見の概要】

- 消火栓等の表示板が無く不便である。対応してほしい。
- 地元の消火栓のところにホースがない。初期消火のため設置してほしい。
- 委員会活動を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。



# 南小校区

参加者 27人

## テーマ① にぎわいのある中心市街 地への取り組み

【意見の概要】

- 市街地は、だんだん衰退していく。もはや中心市街地は必要ない。分散しても良いのでは。
- 商店街に事業所がどれだけあるか、各商店にどれだけ従業員がいるか。各商店が力をつけ、販売力をつける努力をすべき。
- 駅周辺開発プランは、計画の段階で住民の意見を聞くべき。私達が意見を言っても、どこまで反映されるのか。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見をより強く伝えていきます。

【行政の主な取組】

小林駅周辺整備事業費  
当初予算 2億8,411万円  
中心市街地活性化推進事業費  
当初予算 約1,434万円



## テーマ② ごみ収集業務の取り組み

【意見の概要】

- ごみ収集業務は、NPO法人に委託業務になってから経費削減になっているのか。住民サービスにつながっているのか。データで示してほしい。
- ごみ収集運搬等業務は平成25年度から委託しています。9月定例会において平成25年度決算について審査いたします。ごみ収集については、市民からいろいろな意見が出されていますので、今後、委員会等を通して慎重に審査し、議会としても議論を深めていきます。

【行政の主な取組】

ごみ収集運搬事業費  
当初予算 約1億7,375万円

## 自由意見より

※複数の会場で、ご意見をいただいています。

- 職員の不祥事が多い。水道料金横領、傷害事件、放火事件、また、市議の農地法違反について、責任の取り方や対応について報告してほしい。
- 市職員等の不祥事について、水道料金横領については、水道料金徴収を委託していた委託職員を業務停止及び自宅謹慎とした後、平成23年3月31日をもって委託契約を解除するとともに、業務上横領罪で告訴（不起訴処分）しました。また、事件を未然に防止できなかった業務上の管理監督責任を明らかにするため関係職員6名の懲戒処分等を行いました。

傷害事件については、去る7月30日に結審しました。判決は本年9月8日に言い渡されるため、その結果を踏まえ厳正に対処することとなります。

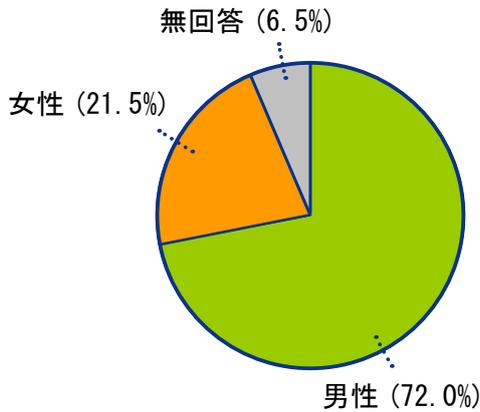
放火事件については、元市立病院職員が放火の事実を認めたと

- 5月30日付けで懲戒免職処分としました。また、市長については、病院開設者としての責任を明らかにするため、本年7月分の給料を30%減額しました。
- 議員の農地法違反に係る件については、政治倫理審査会を設置し、政治倫理条例に基づき対応していきます。

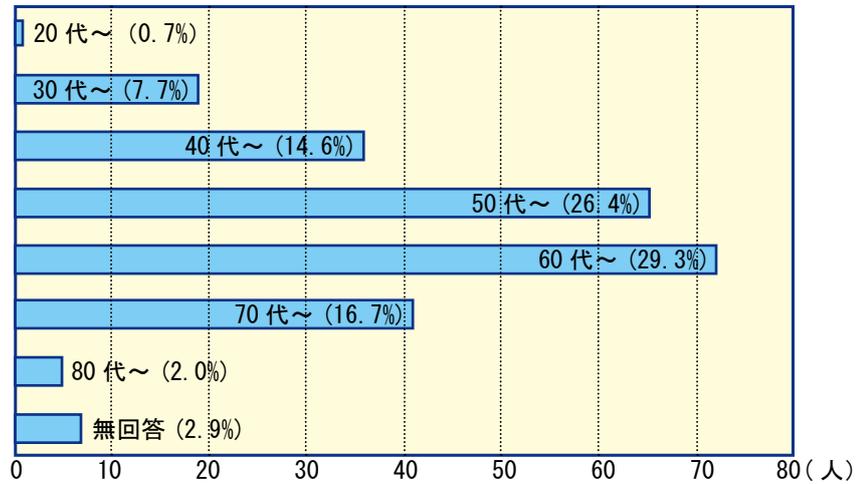
- 市立病院の医師確保など今後の対策はどうなっているのか。
- 医師確保については常勤医師の確保は難しいものの、非常勤医師の派遣や研修医受入など鋭意努力しています。また、平成25年度から、日常生活動作能力の向上による寝たきり防止や在宅復帰の推進を目的に、休止していた病棟を再開し、回復期リハビリ病棟導入、平均在院日数の短縮や病床利用率の向上による経営改善等に取り組んでいます。

# アンケート調査から分かること

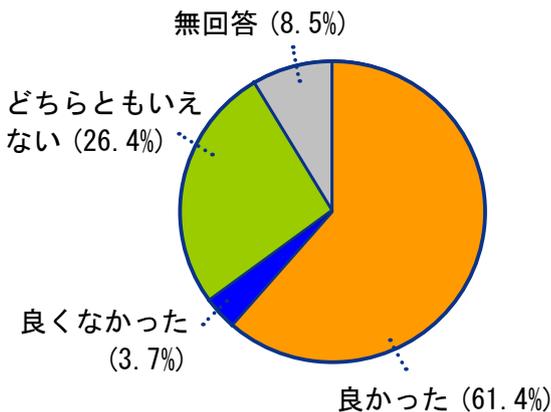
## 参加者の男女の割合



## 参加者の年齢層



## 意見交換会の評価



### 「良かった」という方の意見

- みんな真剣に小林市のことを考え、意見されていると感じた。
- 地域に出て行く姿勢が良いと思う。
- 地域の方々のいろいろな思いを聞けたことがとても有意義でした。こういう機会がないと、なかなか地域のことを真剣に考えることがないと思う。良い試みだと思います。
- 市民・地域住民の声を聞く機会をもっと増やしていただきたい。もっともっと。
- 市民と議員が直接意見交換できた。地域以外の議員さんと会う機会はない。
- 議会が近くなった感じがします。やはり、いつも住民のことを考えて行動してもらっている。大変嬉しく思いました。
- 互いに顔の見える意見交換会で、市民の意見を吸い上げてもらうための有意義な機会になったと思う。より多くの議員の意見を拝聴したいので、できるだけ今後も続けてほしい。

### 自由意見から

- 発言したくても発言できない人のために、アンケートに答える形の意見交換なども良いと思いました。
- 住民の政治に対する意識の高揚を図らなければならないと思う。
- 市民が関心をもっているテーマ設定が必要。
- 工夫して、一回で終わらせず続けてください。

### 「良くなかった」

#### 「どちらともいえない」という方の意見

- 議会としての考え方を分かりやすく説明することも必要では。
- 校区ごとは良いが、集まりが少なすぎ。周知のやり方が悪かったのではないか。
- 田植え時期の開催はどうだったのか。
- 若い人がこのような会にいないのは残念。
- 意見交換会なら幅広い年齢の方の出席が必要だと思う。今日の出席者を見るとおじさんばかり。若い女性の意見は役に立つと思います。強制はいけませんが、ある程度の声かけをしてほしい。もったいない。
- 今回いろんな課題が見つかったと思うので今後に活かしてほしい。